

市町村名		久米島町					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-① 久米島紬販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ		
	担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化	
事業内容		久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販卸訪問等を支援する。					
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	2,407	2,250	10,220	4,194	
	(b) 予算現額	1,914	2,250	10,386	2,500		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 493	0	166	▲ 1,694		
	(d) 繰越額	—	0	0	0		
	A. 計(b+d)	1,914	2,250	10,386	2,500		
	B. 執行済額	1,914	1,997	9,167	1,868		
	うち交付金充当額	1,531	1,597	7,334	1,494		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	88.8%	88.3%	74.7%		
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・予算減額1,694千円は、当初計画していた、後継者育成研修修了者の織り子定着のための、材料購入費一部援助を取り下げたための計画変更による補助金の減額である。 ・計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	島外での展示会開催数	目標	(4回)	(6回)	(6回)	(5回)	
		実績	5回	5回	9回	8回	
	商品開発試作品製作数	目標	()	(6反)	(5反)	(5点)	
		実績		5反	未実施	6点	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・島外での展示販売会を8回開催し、目標を上回ることができた。 ・H26年度に開催した東京展に会場した問屋から、新潟、京都での展示会出展の依頼があり、新たな販路開拓に繋がった。 ・H27年未実施だった反物の商品開発試作品製作を行い、目標数を上回った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(30年度)	
		反物売上額	()	(7,000万円)	(7,000万円)	(7,700万円)	(7,800万円)
		実績		7,100万円	6,600万円		6,017万円
	小物売上額	目標	()	(1,000万円)	(1,000万円)	(1,500万円)	(1,750万円)
		実績		1,000万円	1,200万円		1,542円
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・売上目標、実績は、商品開発、物産展での売上を含めた、紬組合全体の売上目標、実績を計上している。 ・反物売上については、問屋の購買力が弱くなり、必要以上に買いためしない傾向から、取引量が減少していることから、年々売上は低下しており平成30年度の目標値を大幅に下回っている。 ・小物売上は、徐々に売上を伸ばしてきたが、目標値を下回った。 ・各展示販売会には安定して参加出来ている。 ・新商品については、柄の種類が少ない「男物」を新たに開発、縫い目をまたいで柄の繋がる難度の高い「付下げ」を開発した。 					

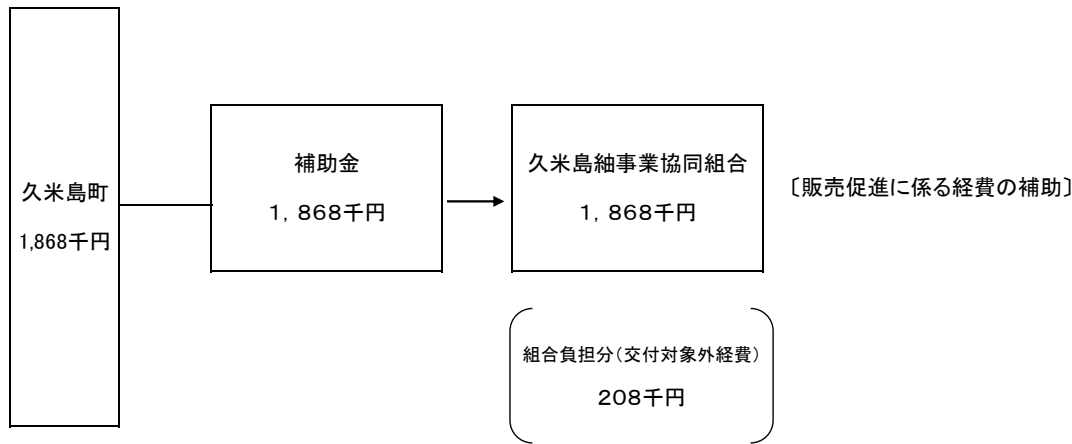
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・問屋が必要以上に在庫を保有しない傾向にあり、取引数が減ってきていることから、反物売上は減少傾向にある。 ・問屋呉服店から受注した反物を製作できる技術をもつ織子が少なく、生産が追いついていないため、織子の技術向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者への直接販売の強化を図ることで、売上減少を抑える。 ・織子の技術向上に取り組み、安定した生産数を確保することで売上増加に繋げる。

今後の取り組み方針

- ・これまで開発した商品をPRLしながら、展示販売会に参加して需要開拓に取り組む。
- ・生産体制を強化するためにも織子の技術向上に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

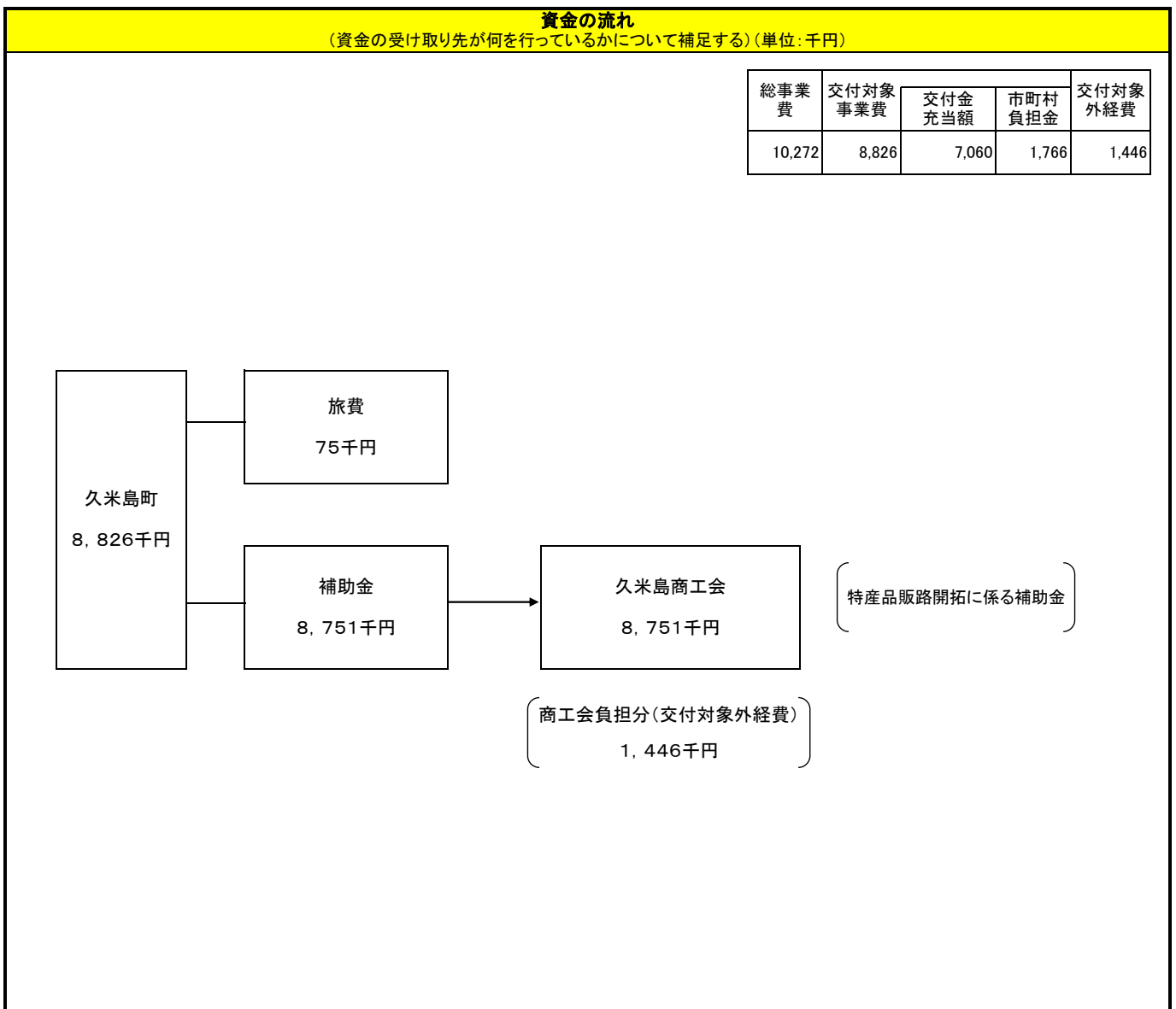
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,076	1,868	1,494	374	208



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先である紬組合は、紬製造従事者により組織され、実績及び知識等を助案した上で選定しており妥当であったと考える。 ○予算規模は紬振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。 ○受益者である紬組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	久米島特産品販路開拓事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	本町特産品の販路拡大を図るため、県内外で開催される物産展への出展を支援する。また、加工食品製造スキルアップ研修会の開催や統一デザイン装飾品製作等を行う団体へ支援を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,225	44,575	42,000	11,543	22,083
		(b) 予算現額	2,225	44,575	36,338	20,103	8,875
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 5,662	8,560	▲ 13,208
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	2,225	44,575	36,338	20,103	8,875
	B. 執行済額		2,225	37,600	35,096	19,212	8,825
	うち交付金充当額		1,780	30,080	28,076	15,369	7,060
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	84.4%	96.6%	95.6%	99.4%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・予算減額は、当初計画より「久米島特産品製造事業所スキルアップ事業」「久米島コーディネート構築事業」の取り下げ、及び県外催事事業費に不用額が生じたための減額によるものである。 ・計画変更後の事業内容についてはすべて実施した。 					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度(2-④)	26年度(2-③)	27年度(2-③)	28年度
	ブラッシュアップ参加事業所 9社	目標	(-)	(-)	(-)	(9社)	(-)
		実績	-	-	-	7社	-
	講習会・勉強会の開催	目標	(-)	(-)	(14回)	(10回)	(12回)
		実績	-	-	14回	9回	0回
	既存商品改良参加事業所 4社	目標	(-)	(-)	(-)	(4社)	(-)
		実績	-	-	-	2社	-
	物産展の開催又は参加	目標	(3回)	(団体への支援)	(5回)	(10回)	(10回)
		実績	3回	久米島商工会への支援	8回	7回	6回
アンテナショップ設置・コーディネーター配置	目標	(-)	(-)	(-)	(1名)	(-)	
	実績	-	-	-	1名	-	
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画していた「講習会・勉強会の開催」「アンテナショップ設置・コーディネーター配置」は計画を取り下げたため実施していない。 ・物産展への参加回数について、県内は予定どおり参加(4回)したが、県外については、県内と重なる月もあるので①製品の製造が間に合わない②従業員を派遣できない③旅費等の諸経費④集客は見込めるが収益に繋がらないなどの理由から、出展公募をかけても参加希望事業所が少なく出店に至らなかった物産展もあり目標を下回った。 					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度(2-③)	28年度	29年度	目標値(30年度)
	物産展等における販売額	目標	()	(2,500千円)	(26,480千円)	()	()
		実績		2,430千円	25,600千円		
	ビジネス戦略・マーケティング戦略勉強会	目標	()	(7社)	()	()	()
		実績		6社			
	既存商品改良数	目標	()	(4点)	()	()	()
		実績		2点			
	ブラッシュアップ商品数	目標	()	(4品)	()	()	()
		実績		3品			
	アンテナショップ販売額(久米島関連商品)	目標	()	(12,000千円)	()	()	()
実績			8,907千円				
久米島特産品製造事業所スキルアップ事業	目標	()	()	(8社)	()	()	
	実績			0社			
【参考指標】 平成26年度開発商品売上げ額		目標	()	()	()	(12,000千円)	
		実績				10,672千円	
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・目標売上額は、「沖縄久米島印商品」、「パッケージ改良商品」、「紅芋開発商品」の合計売上額としている。H30年度の目標売上上に届いていないが、各商品ともに順調に売り上げが伸びている。 ・「沖縄久米島印商品」は、H28年10月より久米島空港内に「久米島印商店」がオープンし、順調に売上が伸びている。また、H29年7月より久米島町ふるさと納税返礼品にも出品し、順調に実績を伸ばしつつある。 ・「パッケージ改良商品」は、久米島物産公社が島外販売をおこない、久米島空港内の久米島印商店が島内販売を行っており、売上額は順調に伸びている。 ・「紅芋開発商品」については、紅芋ドリンクが久米島空港内の久米島印商店オリジナルの定番商品となり、売上が順調に伸びている。 					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・各商品は島内外へ販売し順調に売上を伸ばしているが、島内の売上げがほとんどである。	・島外への販路を拡大することで売上増加を図る取組が必要である。
	今後の取り組み方針	
<p>・島内売上・島外売上が確認できる体制を構築し、計画的に売上増加を図りながら島外物産展への出品等販路拡大を強化していく。</p>		



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は商工業事業者によって組織され、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は特産費販路開拓等に必要経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である商工会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。